



### オフショット

「顔あげて」の声に頭をあげてしまった大山君

「頑張ります」とやる気満々のメンバー

「疲れた」とぐったりしているロープ渡過後

ZOOM!

YASHIO LADDER RESCUE MURATA

「スカイツリーも見える」と興奮満々のメンバー

## インタビュー

救急隊員 沼口 孝喜さん

Q 冬に多くのなる救急内容はなんですか?

A 冬に特に多いのは急性心筋梗塞や脳梗塞です。1年中起ることなのですが、血圧が上がった冬に、特に多く起こります。

Q 駆けつけたらどのようなことを考えて処置を行うのですか?

A 心停止に備えた措置、心電図モニターを準備していくとなつたら電気ショックを打てる体制をとつて病院に搬送します。また、コンクリートの上に寝かされていると体温が奪われてしまうので、体温が低下しないように気を付けています。

Q 救急救命士では女性が男性に比べて苦労することはありますか?

A 女性は力の面では不利があると思います。しかし、患者への気遣いや安心感をあたえることは女性にもできます。

A 医師は、医療行為が全てできるのですが、救急救命士は一部の措置しかできません。具体的には、心停止した方へ点滴や、アドレナリンという薬剤を使用することなどです。その他には、呼吸停止の方に人工呼吸をしやすくするためのチューブを入れるなどの措置ができます。

救急隊員 岩井 洋子さん

Q 救急救命士では女性が男性に比べて苦労することはありますか?

A 女性は力の面では不利があります。しかし、患者の命士でよかったです」と言われたこともあります。

Q 今後女性の職員が増えていくと思うのですが、目指していける方に一言お願いします。

A 女性消防士は、これから需要が増えていくと思います。体力面だけではなく、きめ細やかなフォローができる女性ならではの視点があると思いますのであきらめないで目指して欲しいと思います。

Q サッカーを始めたのはいつですか?

A 小学校1年生の秋(7歳頃)からはじめました。

Q なぜ教師になったのですか?

A 友達に「教師向いてるんじやない?」と言われて教師になりました。

Q 小さいころの将来の夢はなんでしたか?

A 勉強も部活も悔いを残さないように頑張れ。



八潮南高校では、昨年30年を迎えたことを機に、今年の夏季休業期間を使って普通教室棟の大規模改修を行いました。それにより、校舎の外壁をページュからホワイトに化粧直しをして、校舎内には腰板を設置しました。以前と比べて全体的に暖かい雰囲気になりました。その他にも、校舎内の塗装、バリアフリートイレの新設などをしました。見ていてとても気持ちの良い校舎になりました。



## 大規模改修

### 八潮南高校

市民の皆さんも機会があつたら、ぜひ見に来てください。

## コラム



## 八潮南高校 編集後記

広報やしおの編集作業に関わらせていただき、貴重な経験をさせていただきました。制作していく中で、なかなか文章やアイデアが思いつかず大変でしたが、八潮高校、八潮南高校両校の力を合わせて良い紙面が出来上がったと思います。

ロープ渡過・放水体験は思ったより体力を使う大変な訓練でした。はしご車体験は市内を空から見渡すことができ感動しました。

今回取材に行き、改めて市民を守る消防・救急の仕事の大切さを知ることができました。

今回学んだことを生かせる場面にあたら、ためらわずに行動に移したいと思います。

消防署、市役所、そして広報やしおを読んでくださった市民の皆さんありがとうございました。



右から、  
2年 鈴木  
3年 宮下  
3年 森田  
2年 福田  
2年 澄生  
3年 聰介

今まで新聞の編集なんてしたことがありませんでした。どうしたら自分たちの感じたことが伝わるかを考えながら一生懸命作業しました。

私たち八潮高校生徒会は消防署について、ロープ渡過、放水、インタビューなどの編集を担当します。

A オリンピックの選手です。なんの競技でもいいからオリンピックに出たかったです(笑)

Q 最後に、私たちへ一言お願いします。

A 勉強も部活も悔いを残さないように頑張れ。

